

旭川市社会教育基本計画の中間見直しについて（素案）

1. 見直しの視点

文部科学省国立教育政策研究所社会教育実践研究センターが平成 27 年 3 月に示している「社会教育推進の PDCA サイクルを確立するために必要とされる評価指標の在り方に関する調査研究報告書（以下 調査研究報告書という）」を基に、目標や評価及び評価指標について見直す。

2. 見直しの方向性

(1) 基本理念及び基本目標

基本理念及び基本目標については、本計画の根幹であるため、中間見直しにおいては、変更しない。

(2) 成果目標

成果目標は、「どのような状況を目指したいのか」を明確にするとともに、評価との整合性を図る。

(3) 評価

評価は、利用者数や参加者数など、事業の結果を評価する「アウトプット評価」と、事業の結果を通じて生じる人々の意識や行動の変化、地域社会の変化など、事業の成果や効果を評価する「アウトカム評価」に分けられる。現在の成果指標は、アウトプット評価が中心であり、アウトカム評価が不足しているため、調査研究報告書に準じて、成果の見取りであるアウトカム評価について整理する。

(4) 評価指標

評価指標については、経年変化を見取る必要があるため、現行の指標については変更しない。アウトカムに関わる指標を中心に整理する。

(5) その他

その他、必要に応じて加除・修正を行う。

3. 社会教育委員からの意見（抜粋）

(1) 基本目標 1 「市民一人一人の主体的な学びの機会の充実」

- ・現行のものは、子育て世代、シニア世代に限定している印象を与える
- ・評価しやすい目標設定にした方が良い
- ・達成状況がわかりやすいように、具体的な方が良い
- ・高齢者は元気な方が多く、育んできた知恵や能力を生かしてもらうべき。それが生きがいにつながる
- ・情報提供は改善点がある

(2) 基本目標 2 「市民の学びを支える環境の整備」

- ・コロナ禍では、オンラインなどの情報提供が多くなり、対面より話しが詰まりにくく高齢者が IT 社会に乗り遅れている。人と人のぬくもりが感じられるコミュニケーションをとるには、密にならない程度の交流が必要。アウトドアは有効な一つ

(3) 基本目標 3 「地域における学びの循環」

- ・世代交流にもつながるイベントも積極的に取り入れ、市民のストレス解消も目指すべき

(4) 基本目標4「市民の心を豊かにする文化芸術活動の充実」

- ・「気軽に」は安くてラッキーではなく、市に補助してもらっている感謝の心を持ち、しっかりとした態度で参加してほしい
- ・旭川にいても、より高度な芸術に触れることができる機会を取り入れながら、団体の発表の機会を取り入れていく必要があると考える

(5) 基本目標5「郷土文化の保存・活用と郷土愛の育成」

- ・近文生活館での講座のみならず、多くの人アイヌ文化に接することができるように、「ウポポイ」の活動を学びながら、講座の開催、受講者が初心者^にに伝承する機会の設定など、輪を広げていくことが大切ではないか

4. 目標及び評価の修正について

(1) 基本目標 変更しない

(2) 成果目標 目指す市民の意識や行動と行政の取組がわかるように変更する。

(3) 評価

評価方法については、文部科学省国立教育研究所社会教育実践研究センターが平成27年3月に発行している「社会教育推進のPDCAサイクルを確立するために必要とされる評価指標の在り方に関する調査研究報告書」を基に設定する。

調査研究報告書では、社会教育事業のアウトプットとアウトカム及びその流れを右図のように捉えており、「活動・事業実績」がアウトプット、アウトカムはそれが現れる順序を設けて、「事業の直接的効果・理解度」と最終アウトカム（事業目標の達成状況）を設定している。

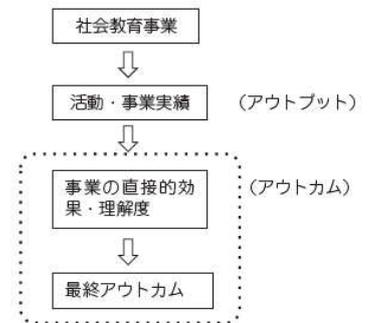


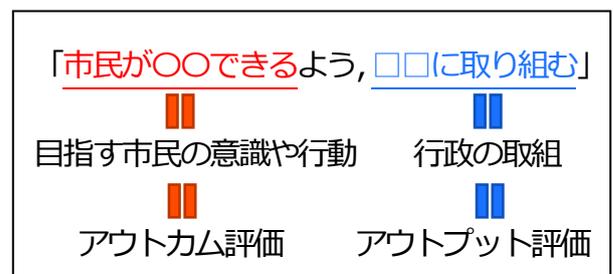
図1 社会教育事業のアウトプットとアウトカム

ア アウトプット評価（結果）

- ・成果目標に示している「行政の取組」を評価する。
- ・行政の目標に達したのか。取組が適していたのか

イ アウトカム評価（成果）

- ・成果目標に示している「目指す市民の意識や行動」を評価する。
- ・アウトカム評価を、事業の直接的な効果・理解度、事業目標の達成状況に分けて評価する。



- ① 事業の直接的な効果・理解度については、今回の見直しでは、行動よりも、意識の変容が起きたかどうかを重点に評価する。「～しようと思った, ～しようとしている」
- ② 最終アウトカム（事業目標の達成状況）については、他の施策や事業等の効果とも相俟^{あいま}って最終的に目指すことが期待できる姿を示すこととする。

(4) 評価指標

ア アウトプット指標（結果指標）

- ・アウトプット評価を見取る指標を設定する。
 - ① 事業の実施状況や活動の実績, あるいはその結果
業参加者数, 事業回数等
 - ② 事業後アンケート
事業終了時や利用者にアンケートをとり, 変容を見取る。
参加者の理解度, 参加者の満足度（ニーズとの乖離の把握）

イ アウトカム指標（成果指標）

- ・アウトカム評価を見取る指標を設定する。
 - ① 事業の直接的な効果・理解度
 - 事業後アンケート
 - ・事業終了時や利用者にアンケートをとり, 変容を見取る。
 - ・基本的に全ての事業で実施する。
 - ・様式を作成し, 共通項目を示すとともに, 各事業ごとに必要な項目を追加する。
意欲の向上, 意識の向上など
 - ② 事業目標の達成状況
市民アンケートや市政モニターアンケート（新規）を活用して, 市民の行動の変容を見取る。
 - 市民アンケート・・・項目は変更できないので, 現在ある項目を活用する。
 - 市政モニターアンケート（新規）・・・年度末に市政モニターに登録している市民にアンケート調査を行う。項目は「北海道教育委員会『生涯学習に関する住民の意識調査』」をベースに, 必要な項目を追加する。

5. 評価指標の検討

- ・目標と評価の整合性はあるか
- ・評価を見取る指標があるか
- ・評価を見取る指標は適切か

社会教育基本計画に係わる事業後アンケートの共通項目

思　　う	少し思う	あまり思わない	思わない
できた	少しできた	あまりできなかった	できなかった
4	3	2	1

1 基本目標1 市民一人一人の主体的な学びの機会の充実

(1) 事業について

- ・学びたいことを学ぶことができましたか
4 3 2 1
- ・自分の課題や社会的な課題を解決するために役立ちましたか
4 3 2 1

(2) 今後について

- ・このような事業や講座に参加したいと思いませんか
4 3 2 1
- ・学んだことを自分のために生かそうと思いませんか
4 3 2 1
- ・地域や社会をよくするために、何をしたら良いか考えようと思いませんか
4 3 2 1

2 基本目標2 市民の学びを支える環境の整備

(1) 事業・施設について

- ・(各施設名) は利用しやすいと感じますか
4 3 2 1
- ・(各施設名・事業名) は学びやすいと感じますか
4 3 2 1
- ・主体的に参加し、学ぶことができましたか
4 3 2 1

(2) 今後について

- ・このような事業や講座に参加したいと思いませんか
4 3 2 1

3 基本目標3 地域における学びの循環

(1) 事業について

- ・この事業に参加して、新しい人とのつながりができましたか
4 3 2 1

(2) 今後について

- ・この事業で学んだことを地域活動に生かしたいと思いませんか
4 3 2 1
- ・学校、家庭、地域と連携して活動していこうと思いませんか
4 3 2 1
- ・学校、家庭、地域とつながりを深めながら学び合っていこうと思いませんか
4 3 2 1

4 基本目標4 市民の心を豊かにする文化芸術活動の充実

(1) 事業について

- ・日常生活に文化や芸術に触れる機会を意識していますか
4 3 2 1

(2) 今後について

- ・今後も、文化や芸術に関する事業に参加したいと思いませんか
4 3 2 1

5 基本目標5 郷土文化の保存・活用と郷土愛の育成

(1) 事業について

- ・この事業に参加して、旭川市(〇〇地区)への愛着が深まりましたか
4 3 2 1

(2) 今後について

- ・地域の魅力や資源について知りたいと思いませんか
4 3 2 1

基本目標 1 「市民一人一人の主体的な学びの機会の充実」

成果 目標	現 行	子育て世代や高齢期などの人生における各段階で直面する課題や社会的な課題を解決できるよう、学びに関する情報提供を行うとともに、様々な学びのニーズに応えることができるよう学習機会の充実を図る。
	修正案	市民が、主体的に学び、人生における各段階で直面する課題や社会的な課題を解決できるよう、学びに関する情報提供を行うとともに、様々な学びのニーズに応える学習機会の充実を図る。

※青字が市民の変容（アトム）「市民が〇〇できるよう、行政機関が□□に取り組む」

■ は現在の成果指標

結果 評価 (ア ウ ト プ ッ ト)	行政の取組	学びに関する情報提供を行っている	社会的課題やライフステージに対応した様々な学びのニーズに 応えている	社会的課題やライフステージに対応した学習機会を充実させて いる
	参加者数や 事業回数等	■まなびネットあさひかわのアクセス件数 ・まなびの応援講座の登録活動数 ・家庭教育に関する情報提供の回数	■社会的課題やライフステージに対応した課題を解決するための講座の受講者数 ■家庭教育の支援に関する講座の参加者数	・社会的課題やライフステージに対応した課題を解決するための講座数 ・家庭教育支援に関する講座数
	事業後 アンケート		・事業に参加して、学びたいことを学ぶことができた参加者の割合 ■社会的課題やライフステージに対応した課題を解決するための講座への参加者の満足度	
	市政 モニター アンケート	・生涯学習に関する情報を十分に得られている市民の割合	・社会的課題やライフステージに対応した様々な学びのニーズに 応えていると感じる市民の割合	・この1年間に公的機関における講座や教室で生涯学習を行った市民の割合
	市民 アンケート			E-問3 趣味・教養の講座や今日的な課題などについて学ぶ機会が充実していると感じている市民の割合
		C-問1-10 生涯を通じた学びの振興に満足している市民の割合（基本目標1～3の全体的な指標）		
成果 評価 (ア ウ ト カ ム)	事業の意識・行動	主体的に学ぼうとしている	人生における各段階で直面する課題を解決しようとしている	社会的な課題を解決しようとしている
	事業後 アンケート	・事業に主体的に参加し、学ぶことができた参加者の割合	・自分の課題を解決しようと思っている参加者の割合	・地域や社会をよくするために何をすべきか考えようと思っている参加者の割合
	市民の意識・行動	主体的に学んでいる	学んだことを自分のために生かしている	学んだことを地域や他の人のために生かしている
	市政 モニター アンケート	・自ら学習に取り組もうとしている人が多いと思う市民の割合	・学習活動を通じて身に付けた知識・技術や経験を自分のために生かしている市民の割合	・学習活動を通じて身に付けた知識・技術や経験をまちづくりや他の人のために生かしている市民の割合
	市民 アンケート			
その他				・地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合（全国学力学習状況調査）

基本目標2「市民の学びを支える環境の整備」

成果目標	現行	社会の変化や新たなニーズに応じた施設運営や本市の特性を生かした事業を展開するなど、市民が学習しやすい環境を整備する
	修正案	市民が、主体的に学ぶことができるよう、社会の変化や新たなニーズに応じた施設運営や本市の特性を生かした事業を展開するとともに、学習しやすい環境を整備する。

※青字が市民の変容（アウトカム）「市民が〇〇できるよう、行政機関が□□に取り組む」

■ は現在の成果指標

結果評価（アウトプット）	行政の取組	社会の変化や新たなニーズに応じた施設運営を行っている	本市の特性を生かした事業を展開している	学習しやすい環境を整備している
	参加者数や事業回数等	■社会教育施設（社会教育部 主管）の利用率又は利用者数 ※中央図書館は貸出利用者数	■地域の特色を生かした事業への参加者数 ■高等教育機関等との連携による事業実施回数	
	事業後アンケート	■社会教育施設を利用しやすいと感じる利用者（注1）の割合		・社会教育施設が学習しやすいと感じる利用者の割合
	市政モニターアンケート	・社会教育施設を利用しやすいと感じる利用者の割合 ・社会教育施設が社会の変化や新たなニーズに応じた施設運営を行っていると感じる市民の割合	・社会教育施設が旭川市の特性を生かした事業を展開していると感じる市民の割合	・社会教育施設が学習しやすい環境となっていると感じる市民の割合
	市民アンケート	C-問1-10 生涯を通じた学びの振興に満足している市民の割合（基本目標1～3の全体的な指標）		
成果評価（アウトカム）	市民の意識・行動	主体的に学ぼうとしている【再掲】		
	事業後アンケート	・事業に主体的に参加し、学ぶことができた参加者の割合【再掲】		
	市民の意識・行動	主体的に学んでいる【再掲】		
	市政モニターアンケート	・自ら学習に取り組もうとしている人が多いと思う市民の割合【再掲】		
	市民アンケート			
その他				

注1）現状は「市民」と表記しているが、利用者アンケートで見取っているため、「利用者」に変更する。

基本目標3「地域における学びの循環」

成果目標	現行	シニア世代をはじめとした地域の人材を活用し、学習成果を還元する取組を充実させるほか、家庭、地域、学校が連携し、つながりを深めながら学び合える環境を整備する
	修正案	市民が、学びの成果を地域づくりに生かしたり、学校、家庭、地域が連携し、つながりを深めながら学び合えることができるよう、地域の人材を活用し、学習成果を還元する取組を充実させる。

※青字が市民の変容（アトカ）「市民が〇〇できるよう、行政機関が□□に取り組む」

■ は現在の成果指標

結果評価（アウトプット）	行政の取組	・地域の人材を活用している	・学習成果を還元する取組を充実させている	・学校、家庭、地域が連携し、つながりを深めながら学び合える環境を整備している		
	参加者数や事業回数等	■ ボランティアと連携して実施する事業の回数 ※中央図書館はボランティアの行事参加者数 ・地域の人材を活用した事業の回数	■ シニア世代の知識や経験を伝える世代間交流の実施回数 ・生涯学習団体やボランティア等が講師となった事業の回数	■ 学校、地域、家庭と連携して実施した事業の参加者数 ※社会教育課は活動回数	■ 青少年活動に関する事業の参加者数	
	事業後アンケート					
	市政モニターアンケート	・地域の人材を活用した事業を行っていると感じる市民の割合	・学習した成果を生かす場や機会が充実していると感じる市民の割合	・学校、家庭、地域が連携し、つながりを深めながら学び合える環境を整備していると感じる市民の割合		
	市民アンケート			E-問3 趣味・教養の講座や今日的な課題などについて学ぶ機会が充実していると感じている市民の割合		
	C-問1-10 生涯を通じた学びの振興に満足している市民の割合（基本目標1～3の全体的な指標）					
成果評価（アウトカム）	事業の直接的な効果	市民の意識・行動	・学びの成果を地域づくりに生かそうとしている	・人と人との絆を深めようとしている	・学校、家庭、地域が連携している	・学校、家庭、地域がつながりを深めながら学び合っている
		事業後アンケート	・学んだことを地域活動に生かしたいと思っている参加者の割合	■ 事業への参加を通じて新たな人とのつながりができた人の割合	・学校、家庭、地域と連携して活動していこうと思っている参加者の割合	・学校、家庭、地域とつながりを深めながら学び合っていこうと思っている参加者の割合
	事業目標の達成状況	市民の意識・行動	・学びの成果を地域づくりに生かしている	・人と人との絆を深めている	・学校、家庭、地域が連携している	・学校、家庭、地域がつながりを深めながら学び合っている
		市政モニターアンケート	・学習活動で身に付けた知識・技術や経験を生かしている市民の割合 ・ボランティア活動に今後参加したいと思っている市民の割合	・自治会・町内会などの活動が活発に行われていると思う市民の割合	・多くの地域住民が子どもたちの活動に関わりを持っていると思う市民の割合	
		市民アンケート	D-問3 地域のイベントや行事、活動に主催者や企画する側で参加した市民の割合	D-問1 町内会等が主催するイベントや行事、活動に参加した市民の割合 D-問4 地域のイベントや行事や活動に参加していない理由で「地域活動に関心が無い」「不要である」と回答した市民の割合		
その他				・地域学校協働活動の資源リストの登録者数		

基本目標4「市民の心を豊かにする文化芸術活動の充実」

成果目標	現行	人々が気軽に文化芸術に触れられる取組を進めるとともに、団体等への支援や関連施設を更に活用することにより、文化芸術の振興を図る。
	修正案	市民が、主体的に文化芸術に接することで、心豊かな生活を送ることができるよう、気軽に文化芸術に触れられる取組を進めるとともに、団体等への支援や関連施設を更に活用することにより、文化芸術の振興を図る。

※青字が市民の変容（アトカム）「市民が〇〇できるよう、行政機関が□□に取り組む」

■ は現在の成果指標

結果評価（アウトプット）	行政の取組	市民が気軽に文化芸術に触れられる取組を進めている	団体等への支援をしている	関連施設を更に活用する手立てを講じている	
	参加者数や事業回数等	■文化芸術に関する事業の参加者数	■文化芸術活動に係る補助金の新規交付団体数 ■文化芸術活動に係る成果発表の場を活用する団体数		■自主文化事業への参加者の満足度
	事業後アンケート				
	市政モニターアンケート	・市民が気軽に文化芸術に触れられる取組を進めていると感じる市民の割合	・団体等への支援をしていると感じる市民の割合	・関連施設を更に活用する手立てを講じていると感じる市民の割合	
	市民アンケート	E-問2-2 文化芸術活動を鑑賞する機会が少ないと感じている市民の割合 E-問2-3 文化芸術活動についての情報が少ないと感じている市民の割合			
		C-問1-11 個性豊かな北国らしい文化の振興に満足している市民の割合（基本目標4,5の全体的な指標）			
成果評価（アウトカム）	事業の直接的な効果・理解度	市民の意識・行動	主体的に文化芸術に接しようとしている	心豊かな生活を送ろうとしている	
		事業後アンケート	今後も、文化芸術事業に参加したいと思う参加者の割合	日常生活に文化や芸術に触れる機会を意識している	
	事業目標の達成状況	市民の意識・行動	主体的に文化芸術に接している	心豊かな生活を送っている	
		市政モニターアンケート	・機会があれば、芸術文化に関することを学びたいと思っている市民の割合	日常生活に文化や芸術に触れる機会を取り入れている	
		市民アンケート	E-問1 旭川市を文化・文化芸術活動がさかんなまちだと思う市民の割合		
	その他				

基本目標5「郷土文化の保存・活用と郷土愛の育成」

成果目標	現行	アイヌ文化をはじめ地域に根付いた文化、ゆかりの文化財等の魅力を発信しながら、次代へ引き継ぐとともに、郷土愛を育む
	修正案	市民が、地域を知り、郷土への愛着をもつことができるよう、アイヌ文化をはじめ地域に根付いた文化、ゆかりの文化財等の魅力を発信しながら、次代へ引き継ぐ体制の構築を図る。

※青字が市民の変容（アトカ）「市民が〇〇できるよう、行政機関が□□に取り組む」

■ は現在の成果指標

結果評価（アウトプット）	行政の取組	地域に根付いた文化、ゆかりの文化財等の魅力を発信している	地域に根付いた文化、ゆかりの文化財等の魅力を次代へ引き継ぐ体制を構築している	
	参加者数や事業回数等	・チラシやSNSなどで、文化財等の魅力を発信した回数	■郷土の文化や歴史に関する保存資料数 ■郷土の文化を知る取組への参加者数 ■アイヌ文化に関する事業への参加者数	■アイヌ文化をはじめ地域に根付いた文化に関する講座等への参加者の満足度
	事業後アンケート			
	市政モニターアンケート	・地域に根付いた文化、ゆかりの文化財等の魅力を発信していると感じる市民の割合	・地域に根付いた文化、ゆかりの文化財等の魅力を次代へ引き継ぐ体制を構築していると感じる市民の割合	
	市民アンケート	E-問2-3 文化芸術活動についての情報が少ないと感じている市民の割合	E-問2-6 歴史的な文化財や街並みが保全されず、活用されていないと感じている市民の割合 E-問2-7 地域の郷土芸能が保存・継承されていないと感じている市民の割合	
		C-問1-11 個性豊かな北国らしい文化の振興に満足している市民の割合（基本目標4,5の全体的な指標）		
成果評価（アウトカム）	事業の直接的な効果・理解度	市民の意識・行動	郷土への愛着を感じている	地域の魅力や地域資源について知ろうとしている
		事業後アンケート	郷土への愛着が深まった参加者の割合	地域の魅力や資源について、知りたいと思っている参加者の割合
	事業目標の達成状況	市民の意識・行動	郷土への愛着をもっている	地域の魅力や地域資源について共通認識を持っている
		市政モニターアンケート	・郷土への愛着を持っている市民の割合	・彫刻、音楽、アイヌ文化等が旭川市の魅力や地域資源であると感じている市民の割合
		市民アンケート		E-問1 旭川市を文化・文化芸術活動がさかんなまちだと思う市民の割合 C-問1-11 個性豊かな北国らしい文化の振興が重要と感じている市民の割合
その他				